

平成31年まちづくり懇談会 顛末書

開催日時	平成31年2月4日（月） 午後6時00分～午後7時05分
会場	延出基幹集落センター
自治会名	延出地区連絡協議会（豊岡連合自治会・上富沢連合自治会・下富沢連合自治会・蓬栄福畑連合自治会）
出席者	<p>【町側】 大野町長、本庄副町長、高野教育長、坂総務企画部長、木村地域振興部長、米田住民福祉部長、渡辺健康生活部長、木村農林水産部長、酒井経済部長、上田教育部長、岩渕総務企画部参事監、桂田地域振興課長、池田地域振興課主幹、平田地域振興課主査 以上14名</p> <p>【自治会側】 8名（男性7名、女性1名 議員3名）</p>

《顛末内容》

主 な 内 容	
開 会	司会 桂田地域振興課長
会長挨拶	延出連絡協議会長
町長挨拶	大野町長
職員紹介	桂田地域振興課長
資料説明	<p>渡辺健康生活部長</p> <p>1. 「脳・脊髄外来のご案内」について 坂総務企画部長</p> <p>2. 「静内庁舎の電話が変わります」 岩渕総務企画部参事監</p> <p>3. 「婚活事業について」 口頭説明 桂田地域振興課長</p> <p>4. 「町長在庁日の取り扱いについて」 口頭説明</p>
意見交換 自治会員A ・災害時の避難 場所について 坂総務企画部長	<p>災害のときの避難所について、延出地区の避難所は基幹集落センターになっていますが、ここが使えない場合には、三石小学校へ避難するように言われています。この地区は地震より洪水が心配で、毎年のように氾濫している。洪水の場合は、集落センターも危険なので、高いところにある会館や学校を避難所として指定できないか。</p> <p>今ある公共施設、集会施設については、避難所として指定させていただいていますが、災害時に全ての避難所を開設するというのではなく、災害の状況がどのような</p>

<p>連合自治会長</p>	<p>場所で、どのような危険があるかという情報を把握しながら避難所を開設することにしていきます。延出地区については、基幹集落センターが大きな施設となりますので、そこが中心になるかとは思いますが、地震、津波、大雨災害などその状況に応じて他の施設の開設も考えていきたい。</p> <p>豊岡高台の下に住んでいますが、毎年、雨で川の水がぎりぎりになり、場所によっては水害になっている。そういうときは、集落センターでは危険だと思う。そうすると、小学校か豊岡生活改善センターしかないと思う。どのような災害が起こるかかわからないので、そういうことをよく考えてほしい。</p>
<p>本庄副町長</p>	<p>以前からいろいろと議論があって、豊岡生活改善センターというよりは旧延出小学校をどうするかというところに焦点があるのではないかと思います。あの中は文庫もありますし、社会教育活動もやっている。保育所が狭いということも今後出てくると思いますが、小学校は6年も使い道が決まっていけないので、相手がいない場合には地域で使うなど、今後の使い方を決めなければならない。売り払いについて再募集してその結果がどうなるか、もう少しお時間をいただいて、もし応募があった場合には、その時にも一部体育館を使用させてもらえるなど、使い方も協議しながら進めていきたい。</p>
<p>連合自治会長</p>	<p>3年後に豊岡生活改善センターを廃止すると避難所はどこになるのか。廃止するのは構わないが、次の避難所を確定してから廃止してほしい。残す場合は、耐震などの改修をしなければならない。延出小学校の使い手が見つかって、その使い手が体育館を使用させてくれるのか。それも確定していないのに生活改善センターはなくなる。我々住民にしてみれば、町は我々のことは考えていないと思う。三石の市街地も、もし10mの津波がきたらどこに逃げるのか。役場も消防もだめです。前の町長のときには、小学校か中学校という話でしたが、大きな被害が出たときに、学校をいつまでも休校にするわけにはいかない。そのあたりはどのように考えているのか。高台の小学校、中学校を使うのは良いが、その後の避難場所はどこかということと、もし豊岡生活改善センターを3年後に廃止するのであれば、この地区には高台の避難所が必要だと思うので、どのように考えているのか教えてほしい。</p>
<p>坂総務企画部長</p>	<p>津波の避難については、まず津波浸水地域から出ていただきたい。基本的に高いところに避難していただくこととなりますので、山の方へ避難していただくことになっています。その後被害状況を確認して、避難生活をするための避難所運営が必要となると思いますが、避難所に指定している施設が被害を受けていないかを確認しながら避難所にする施設を検討したいと思います。</p> <p>集会施設の3年というのは、集会施設を統廃合していくことは、全国的にも昭和40年代、50年代に建設した施設が多く、統廃合を進めることで国からも指針が出ています。その中で、3年間財源を措置できる制度が新たに創設されたところではありますが、新ひだか町の全施設を3年間で全て統廃合できるかという財源措置があるといっても国が100%の交付金や起債を貸してくれるということではないので一気にはできませんが、平成33年までの制度のため、それまでの間にできるところからやっていき</p>

	<p>い。町内の施設についても、民地を借りて建てている施設の中で屋根、外壁などが傷んでいて、雨漏りもしそうな施設もある。そういう施設に財源を活用してなるべく町の持ち出しを少なくするよう活用していきたいと思います。施設の統廃合計画を作成しましたが、町が一方的にその3年間という期間があるから地域の理解を得ないで進めるということはありません。地域とはよくお話をさせていただきながら進めていきたい。</p>
<p>本庄副町長</p>	<p>豊岡生活改善センターにしても、猶予は2年から3年あります。廃校の処理については、学校という目的を外して何にでも使える普通財産にしました。まだ他に学校はたくさん残っていますが、旧延出小学校については、全体の中では少し特殊です。文庫があること、社会教育活動で使用していること、保育所の問題が課題なので、最終的に方向転換をするときに町の利用で残すのかという議論はこれから出てきますので、もう少しお時間をいただきたい。懸念されるとおり、学校を売って豊岡生活改善センターを壊すという乱暴なやり方ではなく、皆さまの自治会活動の拠点が基幹集落センターだと思っていますので、ここを中心に進めていきたいと思っています。廃校の扱いについて、避難所とかませた議論を別途させていただきたいと思っていますので、もう少しお時間をいただきたいと思っています。</p>
<p>連合自治会長 ・住宅（公営住宅・職員住宅・教職員住宅）の貸付について</p>	<p>町営住宅、職員住宅、教職員住宅は何年経っても空いている状態ですが、これを一般に貸し出すという考えはないのか。</p>
<p>坂総務企画部長</p>	<p>町民のための住宅というのは公営住宅があり、三石地区は空き住宅があって公募している状況です。旧延出小学校の教職員住宅のことだと思いますが、町民に貸し出すとすればそれなりの手続きを踏まないとならないと思います。先ほどの話と関連しますが、学校の売却を進めていたという絡みもあり、貸し出す場合に、公営住宅のように公募という手続きが必要になると思う。家賃については、民間アパートよりも低くなると思いますので、特定の方と契約をすることは難しいのではないかと思います。</p>
<p>連合自治会長</p>	<p>売却は考えていないのか。</p>
<p>坂総務企画部長</p>	<p>売却は考えており、もし売却してほしいというお話があれば、他の学校の住宅も売却させていただいていますので、ご要望があれば契約管財課にご連絡いただきたいと思います。ただし、分筆の作業をしなければならぬので、経費がかかることもありますが、それについてはご相談に乗りたいと思いますのでよろしくお願いします。</p>
<p>自治会員A ・まちづくりに対する考えについて</p>	<p>合併してから10年以上が経ち、火葬場を廃止するかもしれないなど、いろいろな話が出てきていますが、新町長さんは今後どのようにまちづくりを進めていくのかお考えをお聞かせ願いたい。</p>

<p>大野町長</p>	<p>今日の午後から、歌笛地区でまちづくり懇談会をりましたが、その時に歌笛の皆さまから言われたのは、静内地区と三石地区が合併して、我々のところは静内地区と比べ見放されているというお話しを伺いました。対等合併だったのに、こんなことだったら合併を取り消してしまいたいというお話をされていました。その時に私が話したのは、合併して13年経って、皆さまの心情としてはそういうことをお持ちだろうと察しますが、私が町政を担って行くうえで一番重要だと思っているのは、税金の使い方を公平にしたい。合併のしこりのようなものが各地域に残っています。静内地区から見れば三石地区の方が良い、三石地区から見れば静内地区の方が良いというような話を春から聞いていて、心情としてはあるだろうけれどもすぐにはなくなるものではないと思っていますので、税金の使い方はきちんと公平に使うべきだと思っていますところです。平成31年度に向けて、各部の予算の査定をしています。例えば病院や老人ホームに毎年約10億円程度の税金を投入して、来年その赤字を皆さまからいただいた税金で全部投入できるかという、投入できないような財政状況になってきています。投入できないとどうなるかという、病院は病院、老人ホームは老人ホームの会計で借金がどんどん膨らんでいく状況になる。病院についても老人ホームについても、大事な施設だと思っていますが、特に病院は、全国どこの公立病院も経営はかなり厳しい。そういう中でも、地域では病院が本当に大切なので、そこは残さなければならぬ。そのために何をすべきか。そのような観点からみると、静内地区、三石地区がそれぞれそういう思いがあるにしても、公平なお金の使い方をしたというのが私の考え方です。先ほど火葬場の話がありましたが、火葬場を作るのにも数億円、10億円でできないかもしれない。その10億円をかけるためにどうするかというときに、病院をやめてその分を回すという選択はできない。ですから、火葬場についても使えるだけ使うという方向で考えていますが、そこに億単位のお金を入れるのは勘弁してください。静内地区まで時間がかかるかもしれないけど、使っていただきたい。そういう選択をしないといけないと思っています。来年度予算は、予算はあるけれども使い道が決まっている中で、何とか工夫しながら将来に備えるような災害のための予算を付けたり、行財政を良くするための予算を考えたりしていますが、そういうところをきちんとした中で、私の残された任期が残り3年くらいですけれども、道筋を付けて行きたいと考えているところです。そのためには、どこのまちづくり懇談会でも話させていただいています。手数料の見直しなど、皆さまにご迷惑やご負担を強いるところもありますが、将来のまちづくりのために不退転の決意でやっていきたいと思っておりますので、ご協力をお願いしたい。</p>
<p>自治会員B ・廃止となる生活館の利用について</p>	<p>廃止となる生活館は、取り壊しになるまでの間は使用できるのか。</p>
<p>坂総務企画部長</p>	<p>地域との合意ができて、その施設を廃止するまでは、基本的にはそのまま使用できます。廃止の手続きは議会などいろいろな手続きがありますが、それまでは使用していただきたいと思っております。手続きの関係で仮に取り壊しが決まったとして、取り壊し</p>

	<p>前、数か月前からは使用できなくなるかもしれませんが、基本的には取り壊すまでは使用できます。</p>
<p>自治会員B ・延出基幹集落センター駐車場の除雪について</p>	<p>延出基幹集落センターの駐車場について、去年までは除雪を行っていたが、今年は除雪がされていない。どうなっているのか。</p>
<p>木村農林水産部長</p>	<p>建設業者と契約し、降雪量で実施するようにしていますが、今後そのようなことがないようにやっていきたいと思う。</p>
<p>連合自治会長 ・農業実験センターについて</p>	<p>実験センターの規模を小さくするような話を聞いたのですが、そのことについて説明をお願いします。</p>
<p>大野町長</p>	<p>来年縮小するつもりはありません。実験センターと和牛センターは、かなり長い間、私も日高支庁にいた時から、旧三石町は農業に力を入れてやってきたものが今も残っていると感じています。それが今の時代、これからの時代にどんな機能を持たせてあげるか、それは役場がやる仕事なのか、そういうことを見直すことが必要ではないかと思っています。ずっとやっているからそのままやるというのは、厳しい時代になってきていますので、機能の集約、新たな機能を付け加える、ここの部分はやめて民間にやってもらうなど、抜本的に物事を考えていかなければならないと思っていますが、そのようなことを地域の皆さま、農協とも話をしていないので来年すぐやるということにはなりません、きちんと考えていく必要があると思っています。</p>
<p>連合自治会長 ・町の産業について</p>	<p>町にはいろいろな振興会があると思うが、お金がないからということで、町からの補助金が削減された。前町長は、新ひだか町は第一次産業主体の町だと言い続けてきました。町長が変わったらそういう体制ではなく、商店街主導の町になってしまったのか。どこにお金を投資するかの問題で、建物にお金を投資してもお金は生まれてきません。産業に投資しなければ税金は集まってきません。そこをカットしてどこにお金を使ってお金がないのか、ここの町は何の産業が主体なのか。</p>
<p>大野町長</p>	<p>第一次産業が主体というのは間違いのない事実です。第一次産業から、例えば商工業に目を向けてかじを切るのかというお話だと思いますが、それを各振興会の補助金を削減したことでそのように思われるのは極端だと思います。決して一次産業を軽く見ているということではない。私も長い間、道職員をやっていて農政一本でやってきたので、一次産業の重要さは知っています。漁師さんや農家さんにどういう手助けをしたら良いか、どういうことをやったら良いかということを農協、役場、生産者の方も含めて、新たなものを考え出さなければならぬと思っています。今のままでいくと、TPPなどいろいろなことがあって、国内の生産額がどのようになるのか不透明な状況であります。それに向かってどうするのか。一方では後継者がいない。後継者をどうやって育てるのか、その問題もあります。農林水産部長には、去年から農業の施策</p>

<p>自治会員A ・光回線の整備 について</p>	<p>はどうか、第三者に継承してうまく農地を使えるような仕組みはどうだ、外から入れてくるのはどうだなどいろいろなことを検討してもらっています。それを来年、何に生かせるかというのはまだ検討中ですので姿として見えませんが、必ずしやそこに何かの手立てを打つことを皆さまとともに知恵を出しながら考えていく必要があると思います。決して商工業や土建屋さんが主体だという気持ちは持っていません。この地域で農家さんと漁師さんがいなくなったら、土建屋さんも、お店屋さんもみんな無くなります。そうなる現実は見えますから、そこに対して私はそのような気持ちは持っていませんのでご理解いただきたい。</p> <p>田舎だからこそ情報網が大事で、光回線について、人口の少ないところは自分たちだけでは整備ができませんので、何か町で考えてくれないでしょうか。</p>
<p>岩淵総務企画部 参事監</p>	<p>現在はインターネットでいろいろ検索をしたり、情報を入れることが年配の方も含めてたくさんいると思いますが、この地域も含め、新ひだか町では光回線の配置が整っていない地域がたくさんあります。NTT東日本で配線していますが、いろいろと相談しています。利益を伴わない投資は、NTT東日本もやろうとはしません。ただし、国道沿いばかり整備をしても、その奥には住宅もたくさんあるということ強く訴えながら必要だという話はさせていただいています。その中で、この地区も含めいろいろな資料をNTT東日本苫小牧支店に提出し、今後もわが町の光回線が通っていない地区を何とか救える方法はないかと相談を続けている最中で、資料を渡したのは昨年10月か11月だと思いますが、札幌の本店とも掛け合っています。一本の回線に対して50件から100件が利用しなければNTTは整備しないというのが原則です。それを何とかするためには、配線の仕方、基地局の作り方などいろいろな方法はあると思いますが、いずれにしても投資をするのはNTT東日本です。これらを何とか理解してもらい、我が町の未整備地区を救いたいという思いで協議している段階です。それに少しでも明かりが見えれば良いという段階であることを説明させていただきます。</p>
<p>大野町長 (閉会挨拶)</p>	<p>新規就農された方のお子さんが小学校5年生で、インターネットを使って塾のように使って勉強したいので、光回線を引いてほしいというご意見がありました。私はその方に手紙で返事を書きました。現在、光回線が来るということは約束できないけれども、それに向けて努力していますとお詫びの文章しか書けませんでした。</p> <p>基地局を作るために100%NTTに出してもらうのではなく、もし私たちがやるとなれば数十億円かかるため、それであれば、お互いに協力できる範囲でお金を出し合うなど、昨年の秋からNTTへ話を進めさせてもらっております。</p> <p>避難所の話ですが、おっしゃるとおり高台の生活館を壊してどうするのだという話だと思いますが、生活館の統廃合は進めていかなければなりません、地域と話を進めていくことが必要だと思います。そういうことでよろしく願います。</p> <p>本日はありがとうございました。</p>
<p>閉 会</p>	<p>19:05 終了</p>